

自動車における AI : ボッシュ、CES 2026 でコックピットの革新技术を発表 Microsoft および NVIDIA と協力

2025 年 12 月 18 日

PI 12042 BBM ak/af

- ▶ ボッシュ取締役会メンバー、マルクス・ハイン：「ボッシュの AI 搭載コックピットは、乗員全員にとってより快適で直感的、そして安全な運転を実現します」
- ▶ ボッシュ、Microsoft および NVIDIA と協力し、自動車における AI 導入を大幅に前進
- ▶ ボッシュの新しい「AI 拡張プラットフォーム」、現在のコックピットシステムを AI 機能で迅速かつ容易に拡張
- ▶ 2030 年までに、車載インフォテインメントソリューションで売上高 20 億ユーロ超を目指す

シュトゥットガルト – 自動車業界は根本的な変革期にあり、ソフトウェア、とりわけ AI（人工知能）が将来の運転と車内体験の中核となりつつあります。ボッシュはこの分野のパイオニアであり、自動車に AI を導入することで、コックピットをインテリジェントな先読み型アシスタントに進化させる決定的な一歩を踏み出しています。米国ラスベガスで開催される世界有数のエレクトロニクス見本市である CES® 2026 で、ボッシュは新しい AI 拡張プラットフォームを発表します。これは、AI を搭載したコックピットを実現するための、AI 対応高性能コンピューティングユニットです。「この新しい AI 拡張プラットフォームにより、既存のコックピットシステムを高度な AI 機能によって、迅速かつ容易にアップグレードできるようになります。これにより、乗員全員にとって、運転体験がさらに快適、直感的、そして安全なものになります」と、ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバー兼ボッシュ モビリティ会長 マルクス・ハインは語ります。

ボッシュの新しい AI 搭載コックピットにより、自動車は単なる移動手段から、ドライバーの行動、好み、状況を理解するインテリジェントな自己学習型パートナーへと生まれ変わります。ボッシュの AI 搭載コックピットの特徴として、利用者のニーズを先読みして対応する AI 音声アシスタント、車室内状況の包括

的な理解、正確なナビゲーション、豊富なエンターテインメントオプションなどがあります。たとえば「寒い」という言葉を発しただけでも、シートヒーターが作動すると同時に、車内温度が調整されるなど、複数の機能が連携して作動することができます。

2030年までに売上高 20 億ユーロ

「ポッシュの新しい AI 搭載コックピットにより、ドライバーも自動車メーカーも双方が、最新の自動車ソフトウェアの能力をフル活用できるようになります。『AI 拡張プラットフォーム』のおかげで、将来的にはさらに迅速に新機能を自動車に実装できるようになります」とハインは語ります。ポッシュは、こうした AI コックピットの市場は大きく成長するとみています。市場調査機関である Grand View Research*や MarketsandMarkets*などでは、AI 対応の車載インフォテインメント (IVI) ソリューションの市場規模は、2030 年までに約 170 億ユーロに達すると予測しており、ポッシュもこの市場への参入をめざしています。ポッシュは、こうした IVI ソリューションにおける売上高が 2030 年までに 20 億ユーロを超えると予想しており、同市場においてトップ 3 の一角を占め、主導的な地位を築くことをめざしています。

現代の自動車に高度な AI を導入

この技術の主な活用例が、車内での非生産的な空き時間を、生産的な仕事時間に変えることです。ポッシュは Microsoft 社と協力し、ドライバーの安全性を損なうことなく、自動車をモバイルオフィスに変換しようとしています。このソリューションでは、Microsoft Foundry とコックピットの専用機能を統合することで、Microsoft 365 Productivity Suite にシームレスにアクセスできるようになります。さらに Microsoft 365 アプリケーションを、他の自動車ドメインとインテリジェントに連携させることで、安全性を優先しながら、注意力の散漫を最小限に抑えることができます。たとえば、ドライバーが直感的な音声コマンドを使って Microsoft Teams の通話に参加すると、先を見越してアダプティブ クルーズ コントロールを作動させるようにシステムが指示を受けるといったことが可能です。こうした複数の領域を横断するシームレスな連携により、生産性と安全性を両立した運転が可能になり、通勤や頻繁に運転するドライバーに恩恵をもたらします。

ポッシュの新しい「AI 拡張プラットフォーム」により、既存のハードウェアやシステム アーキテクチャを変更することなく、既存の自動車に迅速・簡単に後付けすることを可能にします。このプラットフォームの中核には、コックピット内の複雑な AI アプリケーションの基盤となる、強力な「NVIDIA DRIVE AGX Orin システムオンチップ (SoC)」を活用しています。これは業界標準の

「NVIDIA CUDA」プラットフォームに基づいており、自動車メーカー各社が独自の AI モデルやエージェントを簡単に統合することができます。150~200 TOPS (テラオペレーション/秒) の追加計算能力を提供するこのコンパクトな装置は、シンプルな電源と Ethernet インターフェイス経由で接続し、柔軟なア

クティブ空冷または液冷オプションによってサポートされます。複雑な AI 機能の開発と展開を加速させるために、ボッシュはエンドツーエンドの AI ライフサイクルを管理する「NVIDIA NeMo フレームワーク」をはじめとする、NVIDIA のソフトウェアスイートも活用しています。これにより、リアルタイムセンサー処理や視覚言語モデル (VLM) などの高度な車内アプリケーションをシームレスに統合できるようになります。さらに、「NVIDIA Nemotron モデル」を活用したコア推論機能と音声機能により、文脈理解、マルチステップ推論、自然な会話によるユーザーインタラクションが実現します。さらに、ボッシュは Microsoft Foundry を使用して車載 AI を設計・管理することで、コックピット内で拡張性の高い常時最新の AI アシスタント体験を実現します。

ボッシュは、ラスベガスで開催される CES® 2026 において、AI 搭載コックピットと AI 拡張プラットフォームを初めて公開します。

*[Grand View Research](#) および [MarketsandMarkets](#) (英語)

報道用画像およびインフォチャートはボッシュ・メディア・サービス (www.bosch-press.com) でご覧いただけます。

報道関係対応窓口：

Athanassios Kaliudis

電話: +49 711 811-7497

E-mail: athanassios.kaliudis@de.bosch.com

CES 2026 : ボッシュの出展概要

CES 2026 プレスカンファレンスについて

- 【日時】 2026 年 1 月 5 日 (月) 9:00~9:45 a.m. (太平洋標準時)
- 【登壇者】 タニア・リュッカート
(ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバー)
ポール・トーマス (ボッシュ北米法人社長)
- 【場所】 Ballroom Banyan ABCD、Mandalay Bay Hotel、
Las Vegas South Convention Center、Level 3
- 【配信】 [ボッシュ・メディア・サービス](#)でライブ配信

ボッシュブースのご案内

- 【出展期間】 2026 年 1 月 6 日 (火) ~9 日 (金)
- 【出展場所】 Central Hall、ブース#16203

ボッシュのエキスパートによる講演会：

- 【テーマ】 ソフトウェアと AI によるパーソナライズ：
車内エクスペリエンスの再構築

- 【日時】 1月6日(火) 11:20 (太平洋標準時)
【場所】 West Hall Mobility Stage
【登壇者】 Christopher Prediger
(クロスドメイン コンピューティング ソリューション事業部、
コンピューティング パフォーマンス担当バイスプレジデント)
- 【テーマ】 ネットワーク化されたコミュニティにおける
人間の安全保障およびスマートモビリティの推進
- 【日時】 1月6日(火) 16:00 (太平洋標準時)
【場所】 Las Vegas Convention Center North / N261
【登壇者】 Oliver Steinbis (Bosch Secure Authentication GmbH 社長)
- 【テーマ】 パーソナライズされたパフォーマンス :
ソフトウェア ディファインド パワー、ステアリング、ブレーキ
- 【日時】 1月7日(水) 9:40 (太平洋標準時)
【場所】 West Hall Mobility Stage
【登壇者】 Philipp Ibele
(エレクトリファイド モーション事業部
エンジニアリング担当エグゼクティブバイスプレジデント兼取締役)
Rich Nesbitt
(ビークルモーション事業部 製品管理担当バイスプレジデント)
- 【テーマ】 スマートデバイスとスマートホーム統合の最新情報
- 【日時】 1月7日(水) 11:00 (太平洋標準時)
【場所】 Las Vegas Convention Center West / N218
【登壇者】 Darcy Clarkson (北米 BSH の CEO)
- 【テーマ】 データからエクスペリエンスへ :
次世代モビリティの中核を担う AI
- 【日時】 1月7日(水) 16:30 (太平洋標準時)
【場所】 Fontainebleau Las Vegas の AI Foundry Stage
【登壇者】 Mariela Minutolo
(ETAS GmbH セールス & マーケティング担当
エグゼクティブバイスプレジデント兼取締役)
Christian Koepf
(クロスドメイン コンピューティング ソリューション事業部
コンピューティング パフォーマンス担当シニアバイスプレジデント)
- 【テーマ】 手を離すから目を離すへ : 自動運転レベル 4 への競争
- 【日時】 1月8日(水) 9:00 (太平洋標準時)
【場所】 Las Vegas Convention Center West / W219
【登壇者】 Fedra Ribeiro
(クロスドメイン コンピューティング ソリューション事業部
セールス担当エグゼクティブバイスプレジデント兼取締役)

【テーマ】 ソフトウェア ドリブン モビリティにむけた協働
【日時】 1月8日(水) 9:40(太平洋標準時)
【場所】 West Hall Mobility Stage
【登壇者】 Eric Cesa (ETAS Americas バイスプレジデント)

報道関係対応窓口：

CES におけるボッシュ： Irina Ananyeva, +49 152 597-53284, Megan Bonelli, +1 947 281-7062, Tim Wieland, +1 248 410-0288

モビリティ、ソフトウェア： Athanassios Kaliudis, +49 152 086-51292

AI (人工知能)： Matthias Jekosch, +49 711 811-17645

コネクテッド・マニュファクチャリング (ネットワーク化された製造)：
Manuela Kaiser, +49 711 811-44203

モビリティは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2024年の売上高は558億ユーロで、グループ総売上高の約62%を占めています。モビリティの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティ事業セクターは、安全でサステナブルかつ魅力的なモビリティをめざし、お客様にモビリティのためのトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、電動化、ソフトウェアとサービス、半導体とセンサー、車両コンピューター、先進運転支援システム、ビークルダイナミクスコントロールシステム、リペアショップコンセプト、オートモーティブアフターマーケットやフリート向けのテクノロジーおよびサービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC(エレクトロニックスタビリティコントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2024年の従業員数は約41万8,000人(2024年12月31日現在)、売上高は903億ユーロ(約14.8兆円*)を計上しています。ボッシュは事業を通じて、自動化、電動化、デジタライゼーション、ネットワーク化、持続可能性の取り組みといった普遍的なトレンド形成に、自社のテクノロジーを活用することをめざしています。こうした観点から、ボッシュは地域や業界の壁を超えた幅広い事業展開により、革新性と堅牢性を高めています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスにおける実績ある専門知識を活かし、さまざまな分野にまたがるソリューションをワンストップでお客様に提供しています。また、ネットワーク化とAIに関する専門知識を応用して、ユーザーフレンドリーで持続可能な製品を開発・製造しています。ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」なテクノロジーによって、人々の生活の質の向上と天然資源の保護に貢献したいと考えています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbHとその子会社490社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界136の拠点で約8万7,000人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ(1861~1942年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbHの独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbHの株式資本の94%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しており、残りの株式はロバート・ボッシュ GmbHおよび創業家であるボッシュ家が所有する法人が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っています。

*2024年の為替平均レート、1ユーロ=163.8354円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン公式ウェブサイト (日本語)

[@BoschJapan](https://www.facebook.com/bosch.co.jp) ボッシュ・ジャパン公式X (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン公式YouTube (日本語)

<https://www.linkedin.com/company/bosch-japan/> ボッシュ・ジャパン公式LinkedIn (日本語)